

会議録

- 1 附属機関の名称
犬山市文化財保護審議会
- 2 開催日時
令和7年3月24日（月曜日）10時00分～12時00分
- 3 開催場所
犬山市役所4階401会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
赤塚次郎、小嶋毅、林進、四辻秀紀
 - (2) 事務局
滝教育長、中村教育部長、（以下歴史まちづくり課）加藤課長、小川課長補佐、
渡邊課長補佐、市野統括主査、鈴木主査補、河寄主査補、中野主事、大前主事
- 5 議題
 - (1) 報告事項
 - ① 文化財保存活用地域計画について
 - ② 歴史まちづくり事業について
 - ③ 文化財建造物について
 - ④ 犬山祭の保存修理等事業について
 - ⑤ 犬山城について
 - ⑥ 史跡東之宮古墳保存活用事業について
 - ⑦ 天然記念物ヒトツバタゴ自生地について
 - ⑧ 市史編さん事業について
 - ⑨ 史跡名勝天然記念物の現状変更について
 - ⑩ 寄贈資料・寄託資料について
 - ⑪ その他報告事項
 - (2) 協議事項
保護すべき市内の文化財について
- 6 傍聴人の数
0 人

7 内容

(1) 報告事項

報告事項の各事項について、事務局より説明を行った。

○委員等からの意見

⑤ 犬山城について

委員： 大手門枳形跡の図面について、堀とその他の部分にはスロープを作るのか、段とするのか。

事務局： 犬山城調査整備委員会から、堀・土塁の勾配については、なるべく本来の勾配にすべきという意見があった。堀は発掘調査の結果、勾配が約 60 度弱くらいのため、基本的にはスロープから降りていただく。

委員： 高い段だとはつまずく可能性がある。スロープであればその心配もないのではないかと思う。

事務局： 深さ 30 cm 程度で検討している。

委員： そのくらいの深度であればわかりやすいのではないか。

事務局： 基本設計の段階で、さらに審議したいと考えている。

その他事項については意見無し

(2) 協議事項

保護すべき市内の文化財について、事務局より説明し、今後の方針について審議を行った。

○委員等からの意見

委員： 白山神社古墳の出土品は非常に貴重なものであり、指定していただきたいと思う。

大縣神社拝殿も、専門的に調査ができているためよいと思う。絵画の富士参詣曼荼羅は駿河の富士山のことか。

事務局： 尾張富士ではなく、駿河の富士山を描いたものである。

委員： 富士山信仰に関わるなら、どのような経緯でここにあるのか。

事務局： 富士信仰の先生にも見ていただいたが、どういった経緯であるのかはわかっていない。

委員： 富士信仰は富士講により全国に広がっているため、各地に富士参詣曼荼羅がある。犬山では尾張富士によって富士信仰に繋がったとみられる。指定する際には、絵画として指定するのではなく、歴史資料として一括して、文書も含めて指定したほうがよいのではないか。

委員： 合わせて富士山と尾張富士の伝承についても発掘してみてもどうか。また、犬山には白山神社系列と熊野神社系列が存在しているが、分析してみたらどうか。

委員： 富士参詣曼荼羅は、まず歴史資料として指定し、絵画としての価値を評価できる場合は、絵画として単独指定してもよいのではないか。

また、犬山城白帝文庫に未調査の物が多数あるため、長い計画で継続的

に調査し、専門家の方に調書を書いていただいた方がよいのではないか。

委員長： 犬山市には文化財が多くあるが、指定になっていないものも多いのではないか。市指定、県指定も含めて、抜けている分野を特に重視して、掘り起こしていく必要がある。まずは、今回提示したものについて調査を進めることとし、一度現物を確認する機会を設けていただきたい。

事務局： 一部は所有者の確認が必要だが、来年度の審議会でご確認いただきたい。また、調査の過程で掘り起こされてきたものをリストアップし、調査対象物件を定め、調査が完了したものから順次市指定にしていく。

プロセスについては、今回の審議会で提示した流れで進めていきたいと考えており、大縣神社の拝殿から開始していく。

委員長： 今後調査を進めていく中で、様々な先生方からご意見やご指摘をいただき、検討しながら指定すべきものは指定していく。その際、市指定に留まらず県指定や国指定に進める可能性があるものについても検討を進めることが必要ではないか。

○本審議会での審議結果

- ・今回の保護審議会では提示のあった保護すべき市内の文化財のうち、まず大縣神社の拝殿からまず調査を進めることとする。また、保護審議会にて現物を確認する機会を設ける。
- ・その他については、調査の過程で掘り起こされたものをリストアップし、様々な先生方からご意見やご指摘をいただき、検討しながら順次市指定を目指す。その際、市指定に留まらず県指定や国指定に進める可能性があるものについても検討を進める。